

第8次新潟県地域保健医療計画「小児医療」指標

No.	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考)二次医療圏							(参考)全国		
							目標値 (R11)	現状値	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡			
A	1	小児の成長と発達を支えられているとともに、小児とその家族が良質かつ適切な小児医療や必要な医療的支援を受け、安心して生活することができる。	小児死亡率	15歳未満の死亡率	人口動態調査	令和3年	小児千対	減少させる	0.2									0.2
B	2	いつでも子どもの健康や発達、症状等について相談することができる、保護者の不安が解消されている。	AI救急相談アプリで不安が解消された利用者の割合	AI救急相談アプリ利用者(相談対象者15歳未満)のうち、「不安が解消された」又は「不安がやや解消された」と回答した利用者の割合	県調査	令和4年	%	増加させる	30.6									
	3	地域で初期救急を含む小児医療を受けることができる。	かかりつけ医受診率	小児かかりつけ診療料算定回数/(小児科外来診療料算定回数+小児かかりつけ診療料算定回数)×100	NDB	令和3年	%	11.0	7.3									11.0
	4	小児の症状に応じた専門的な医療や、入院を要する小児の救急医療を24時間受けることができる。	医療機関が救急搬送患者を受け入れなかった理由が「専門外」の割合	消防が受入照会するも受入れに至らなかった主な理由のうち、理由が「専門医の不在」だったものの割合	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	令和3年	%	減少させる	13.2									
	5	高度専門的な小児医療を受けることができる。	小児救急搬送症例のうち受入困難事例の件数	医療機関に受入れの照会を行った回数が4回以上の件数+現場滞在時間が30分以上の件数	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	令和3年	件	減少させる	338									
	7	災害や新興感染症等の発生時などにおいても、適切な小児医療を受けることができる。	災害時小児周産期リエゾンの任命者数	災害時小児周産期リエゾンとして任命した者の数	県調査	令和4年	人	増加させる	19									804
C	1	小児医療に必要な医師等が確保されている。	小児科医師数	主として小児科に従事している医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	令和2年	人	増加させる	269	21	130	23	55	14	21	5	17,997	

第8次新潟県地域保健医療計画「小児医療」指標

No.	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考) 二次医療圏							(参考) 全国		
							目標値 (R11)	現状値	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡			
C	1	小児医療に必要な医師等が確保されている。	小児救急医療研修事業修了者数	小児救急医療研修事業を終了した医師等	県調査	令和4年	人	600	478									
	8	休日・夜間の子どもの急病時に保護者が相談できる体制が整備されている。	小児救急医療電話相談の相談件数	小児救急医療電話相談の相談件数	県調査	令和4年	件	増加させる	7,591									
	8	休日・夜間の子どもの急病時に保護者が相談できる体制が整備されている。	AI救急相談アプリの相談件数	AI救急相談アプリ(相談対象者15歳未満)の相談件数	県調査	令和4年(R4.7-R5.6)	件	増加させる	1,539									
	10	適切な受診行動が促進されている。	救急搬送された小児患者の軽症率	救急搬送された患者(18歳未満)のうち軽症だった者の割合	県調査	令和4年	%	減少させる	64.5	67.5	53.5	71.9	73.2	72.2	82.6	75.5	72.2 (R3)	
	10	適切な受診行動が促進されている。	小児人口当たりの時間外外来受診回数	小児(15歳未満)人口当たりの時間外外来診療料等の算定回数	NDB	令和3年	回	減少させる	33,003	753	11,426	1,198	5,504	4,559	8,614	949		
	11	地域の実情に応じた初期救急体制が整備されている。	小児初期救急医療体制が整備されている医療圏数	休日・夜間における小児の初期救急体制が整備されている医療圏	県調査	令和4年	医療圏	7	5	有	有	有	有	無	有	無		
	12	小児の入院医療が24時間体制で提供されている。	24時間体制で救急医療が提供可能な2次医療圏数	24時間体制で救急医療が提供されている医療圏	県調査	令和4年	医療圏	維持する	7	有	有	有	有	有	有	有		
	13	入退院の調整が円滑に行われている。	退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	退院支援を受けたNICU・GCU入院児の算定回数	NDB	令和3年	回	増加させる	142									
13	入退院の調整が円滑に行われている。	NICU入院児の退院支援を専任で行う者が配置されている周産期母子医療センター数	NICU入院児の退院支援を専任で行う者が配置されている周産期母子医療センターの数	周産期医療体制調査	令和4年	施設	増加させる	5									200	
14	小児患者が適切に救急搬送されている。	救急搬送(中等症及び軽症)における圏域外搬送の割合	消防本部が所在する医療圏の圏域外に搬送された18歳未満の患者(中等症及び軽症)の割合	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	令和4年	%	減少させる	6.0	4.1	4.0	38.5	0.8	4.3	0.6	0.0			

第8次新潟県地域保健医療計画「小児医療」指標

No.	アウトカム	指標名	定義	調査名	調査年	単位	新潟県		(参考) 二次医療圏							(参考) 全国	
							目標値 (R1)	現状値	下越	新潟	奥平	中越	魚沼	上越	佐渡		
C	15	高度な小児専門医療に必要となる機能が整備されている。	小児救急搬送症例のうち受入困難事例の件数 [再掲]	医療機関に受入れの照会を行った回数 ^が 4回以上の件数+現場滞在時間が30分以上の件数	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	令和3年	件	減少させる	338								
	15	高度な小児専門医療に必要となる機能が整備されている。	長期滞在施設の稼働率	マクドナルドハウスに ^い がたの稼働率 (=利用延数/利用可能数)	県調査	令和4年	%	70	32.4								
	18	医療機関、訪問看護事業所、障害福祉サービス事業所等が連携し、総合的な支援等を行う体制が整備されている。	小児に対応可能な訪問看護事業所数	小児への医療的ケアも可能な訪問看護事業所数	県調査	令和3年	施設	増加させる	62	5	30	6	8	3	9	1	
	18	医療機関、訪問看護事業所、障害福祉サービス事業所等が連携し、総合的な支援等を行う体制が整備されている。	重症心身障害児等を受け入れ可能な障害福祉サービス等事業所数	重症心身障害児等を受け入れ可能な障害福祉サービス等事業所数	県調査	令和5年	施設	増加させる	27	2	10	3	5	1	6	0	
	21	家族の身体的、精神的負担が軽減されている。	レスパイトに対応している施設数	医療型短期入所事業所の数	県調査	令和5年	施設	増加させる	8	0	3	1	2	0	2	0	
	22	災害時に既存のネットワークが有効活用できる体制が整っている。	災害時小児周産期リエゾンの任命者数 [再掲]	災害時小児周産期リエゾンとして任命した者の数	県調査	令和4年	人	増加させる	19								804
	22	災害時に既存のネットワークが有効活用できる体制が整っている。	防災訓練の実施回数	県総合防災訓練の実施回数	県調査	令和4年	回	維持する	1								